

令和7年度 まつにし
進路だより

令和7年4月30日発行 vol.1
松橋西支援学校 進路指導部
校訓 伸びよ 大きく

自らの将来を自己選択・自己決定する力を育む

令和7年度がいよいよ始まりました。毎年のことではありますが、期待と不安でいっぱいだった児童生徒たちも、始まって数週間経ちようやく新生活にも少し慣れてきたところです。松西は本校小中学部、高等部、そして高等部上益城分教室と3校舎に分かれており、今年は児童生徒数が208人と県内特別支援学校の中で2番目に多い学校となりました。その一人一人に進路やキャリア発達があります。法改正により今年の10月から新たに「就労選択支援」という新たな福祉サービスが始まります。これまで以上に児童生徒の意思決定に向けた支援や自己決定を尊重しながら、一人一人の進路を考えていきたいと思います。今年も「伸びよ 大きく！」



キャリア教育の視点を日常に～キャリアアップウィークの取組～

今年度も月初めの1週間を「キャリアアップウィーク」として、はたらく・くらす・たのしむ力を高めるための重点項目を設定し、啓発に取り組んでいきます。この取組を始め4年目になりました。毎年少しずつ重点項目の変更や改善に取り組んでいます。項目内容については、学校や家庭からの願いに加え、卒業生や近隣の福祉事業所などからもアイディアをいただいて設定しています。今年度新たな項目として1月に「投票しよう・えらんでみよう」を設定しました。例年児童生徒会選挙の時期でもありますが、18歳を迎えた高等部3年生の中には在学中に投票に行く生徒もいます。小学部の低学年であっても、自分の好きな活動や遊び、人や場所、食べ物や音楽など様々な選ぶ行動や経験を通して、「選ぶ力」や「好みを伝える力」を育んでほしいと思います。取組については進路だよりなどで御紹介したり、期間中は昇降口などにもポスターを掲示したりしますので、ぜひご家庭でも話題にしていただけたらと思います。

4月は「目標決め」がテーマでした。

5月は「あいさつ」です。

「キャリアプランニング能力」や「人間関係形成・社会形成能力」といったキャリア教育で育てたい力につながる基礎的で大切な習慣です。



「就労選択支援」～卒後のくらしを考える福祉サービス

例年、松西高等部を卒業する4割近くの生徒が「就労継続支援B型」と呼ばれる福祉サービスの利用を選んでいます。これまで卒業後すぐにB型の利用を希望する場合は、原則就労移行支援を利用した「就労アセスメント」を受ける必要がありました。この「就労アセスメント」をさらに充実し、対象を拡げた「就労選択支援」が始まります。この10月以降に新たにB型利用を希望する人、令和9年4月からは、A型利用を希望する人は原則「就労選択支援」を利用して進路を選ぶ際に活用していくこととなっています。これから高等部での実習先・進路先選びや実施時期などに影響があると考えていますが、4月時点で宇城圏域ではまだ実施する事業所がないため、具体的な進め方などについて、今後も自治体からの通知や事業所の動向など注視していきたいと思います。

就労選択支援

2週間のアセスメント + 多機関ケース会議

を通じて就労系福祉サービスの利用や進路に関する意向について確認を行う。

どこの事業所でできるのか？（就労移行支援事業所？）

どのような手法ですのか？（事業所で、現場実習で、学校で）

いつ実施するのか？（高等部1年生からできる。複数回できる）



まつにし進路直想便～ご意見ご質問をお寄せください！～



個別面談や家庭訪問では、どの学部においても様々な進路に関する悩みや質問を伺っています。各学部から寄せられた質問などは、進路だよりなどでお答えしていきたいと思います。また、今年も「まつにし進路直想便」を準備しました。進路やキャリア教育に関するご意見、ご質問、ご感想など、グーグルフォームで直接想いをお聞かせください。お近くに「新しい事業所ができたみたい」といった情報提供などもあります。下のURLを入力または、QRコードを読み込んでいただき、ご記入ください。所属学部のみ選んでいただき、無記名でいつでも、何回でも受け付けています。皆様の声をお待ちしています。

まつにし進路直想便

進路に関する 質問、悩み、想い
なんでも、いつでも、なんかいでも
直接 届けてください！



<https://forms.gle/FDivtxpM2zSCAJ2K>